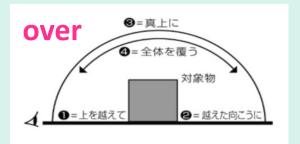
<前置詞> overの世界

CORE IMAGE



何かの上に弧を描いて

Please come over here.



over は「何かの真上」と理解されていますが、正確には、**何かの上に弧を描いている**感じです。コアイメージで示すと上の図のような感じになります。

図には①から④の数字が付いています。①は The cat jumped over the fence. の例にみられるように、ちょうど弧を描いた動きですね。 The balloon is flying over the mountain. の英語のプロセスは以下のようになります。移動経路としての over の感覚がよく生きています。



The cat jumped over the fence.

猫が柵を飛び越えた



The balloon is flying **over** the mountain.

気球が山の上を飛んでいる

Please come over here. は「ここにやってきて」ということですが、Please come here. というよりも、弧を描く感じで移動することから躍動感が感じられます。これは「何かを越えて」という感覚です。



Please come over here.

ここにやってきて

②では視点が対象の前にあり、「その対象を越えて」という意味合いです。山の手前にいて、 山を越えると村がある、という状況がその例ですが、There is a village over the mountain. のように over を使います。これは、心理的な移動、あるいは視線の移動が含まれています。



There is a village **over** the mountain.

(山の手前にいて)山を越えると村がある

③の「対象の真上に」に当たるのは、Something flew over my head. (頭上を何かが飛んだ)のような例です。



Something flew **over** my head.

頭上を何かが飛んだ

④の「全体を覆う」イメージは、There is a cloth over the table. (テーブルにクロスがかかっている)の例にみられます。There was an old bridge over the river. (その川には古い橋がかかっていた)も同様に、川の真上に橋が架かっているということです。移動というより状態に注目した over だといえます。山に虹がかかっているという状況も There is a rainbow over the mountain. と over を使います。



There is a cloth over the table.

テーブルにクロスがかかっている



There was an old bridge **over** the river.

その川には古い橋がかかっていた



There is a rainbow **over** the mountain.

山に虹がかかっている

パンにバターを塗るという際にも **Spread butter over your bread**. と表現します。 **Spread butter on your bread**. も可能ですが、 on を使うとバターをパンに付けることが、 over だと全体を覆うようにという意味合いが強調されます。



Spread butter over your bread.

(全体を覆うように)パンにバターを塗る

over のコアを応用していけばいろいろな表現が可能となります。He's well over 60. だと「彼はもう 60 歳を超えている」、Don't get excited over nothing. は「つまらないことで興奮するな」ということですが、「弧」のイメージから「つまらないことを巡って」となるのです。 I'll stay in London over Christmas. だと「クリスマスの間はロンドンに滞在する」ということですが、ここでもクリスマスという時期を覆って(めぐって) という意味合いがあります。



He's well over 60.

彼はもう60歳を超えている



Don't get excited over nothing.

つまらないことで興奮するな



I'll stay in London over Christmas.

クリスマスの間はロンドンに滞在する